

ヒソガード工法

はじめに

近年シールド掘削において、泥岩層・土丹層を泥土圧シールド工法で掘削する時に自然由来の砒素が混入している場合があります。
ヒソガード工法は、短期間に砒素の不溶化および残土固化に対応できる工法であり都市部で残土のストックヤードがない場合や中性域で残土改質をしたいというニーズに答えた環境にやさしい工法です。

工法特長

- 1 砒素の不溶化と残土固化が30分~2時間程度で同時にできます。
- 2 改質した土砂の pH は中性です。
- 3 A剤とB剤の配合を変えることにより、原土の pH が酸性またはアルカリ性領域であっても、中性域で改良することができます。

使用材料



ヒソガード A 剤

無機系コロイド液をポリマー化したものであり、砒素の不溶化剤です。

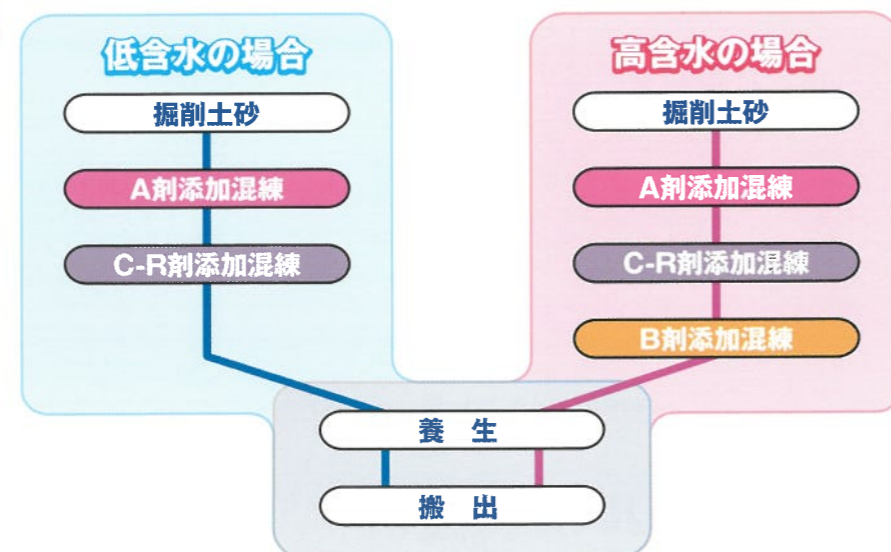
ヒソガード B 剤

無機系のアルカリ溶液であり、A剤との反応により急速に固化します。
また、pHもA剤は酸性、B剤はアルカリ性なので2液を混合することにより中性になります。

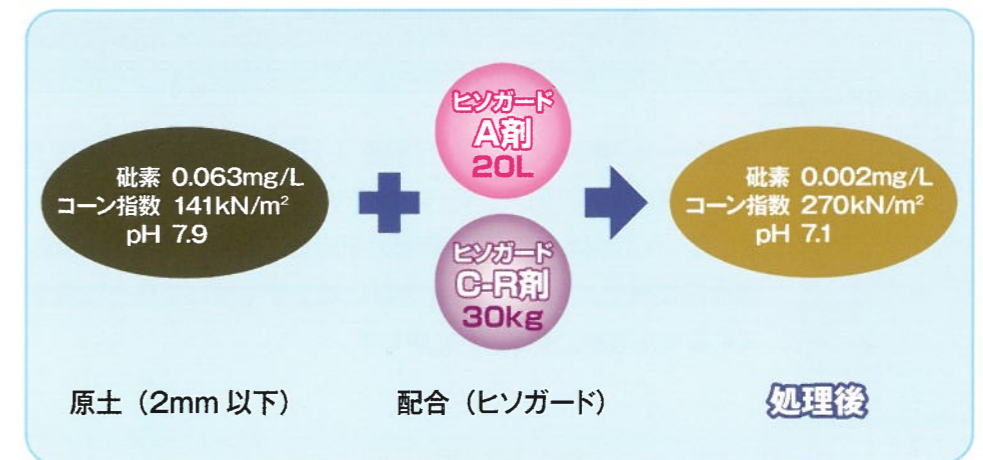
ヒソガード C-R 剤

カルシウムを主成分とする白色中性の粉末です。
高含水土に加えることにより、土砂のコーン指数が増大します。

不溶化フロー



低含水用配合(気泡)配合例(1m³あたり)



高含水用配合(加水)配合例(1m³あたり)



A剤・B剤・C-R剤の性状

	性状	真比重	荷姿
A 剤	赤褐色液体	1.45±0.05	タンクローリー車
B 剤	無色液体	1.40±0.05	タンクローリー車
C-R剤	白色粉末	2.65±0.05	タンクローリー車 フレキシブルコンテナ

京浜ソイル株式会社

〒232-0023
神奈川県横浜市南区白妙町 5-69
TEL:045-231-4856
FAX:045-231-4081
E-mail:keihinsoil@keihinsoil.jp